

# 大学スポーツ振興の推進（日本体育大学の取組）

## ○日本体育大学アスレティックデパートメント（Nippon Sport Science University Athletic Department: NSSU AD）の目的とミッション

### 《目的》

日体大スポーツの価値を高め、その魅力を広めることで、大学スポーツの振興に寄与する

### 《ミッション》

- ①アスリートの資質の涵養と競技力向上を支援する
- ②安全・安心にスポーツを行える環境を整備し、アスリートたちが競技に打ち込める体制を構築する
- ③日体大のスポーツと地域の結びつきを強め、社会の課題解決に貢献するとともに日体大の誇りを高める
- ④日体大のスポーツの魅力を広く発信し、分かりやすく伝える



## ○大学スポーツにおける先進的モデルの企画・立案及び実施

### 《新たな取組》

#### 1. スポーツ教育の推進

- 一般学生の大学スポーツに対する理解醸成・応援文化の定着
- 一般学生（当該クラブ以外のクラブに所属する学生を含む）の大学スポーツに対する応援文化の創成と定着を図る。



#### 2. 大学スポーツを活用した収益事業モデルの企画・立案

- 寄付プログラムの企画・立案
- 米国大学スポーツにおける寄付プログラムの調査・研究に基づき、大学スポーツを活用した新たな収益事業モデルとして、全学的に取り組む寄付プログラムを企画・立案する。



### 《既存の取組の継続・発展》

#### 3. 学生アスリートのキャリア形成支援

- 学業支援を中心としたキャンパスライフ支援の発展
- アスリート・キャリア・アドバイザーによる個別相談体制を構築するとともに、オンデマンド学習支援システムの積極的な活用により授業動画の撮影と配信を充実させる。



#### 4. スポーツ科学の研究とその成果の社会還元

- 大学スポーツ振興のあり方について検討するシンポジウムの継続
- 大学スポーツの安全・安心の確保、学業支援、収益事業モデルの構築等に関する情報交換と議論を重ね、競技横断的・大学横断的統括組織のあり方について引き続き検討する。



## ○期待される成果

### 1. 大学スポーツに対する理解醸成と応援文化の定着

自身が経験したことのない他競技に触れることによって、自ら取り組んでいる競技と関連づけながら観戦することができるようになる。複数の競技を横断的に楽しむモデルケースが形成されることで、スポーツ文化の醸成に寄与する。

### 2. 大学スポーツにおける寄付プログラムのモデル構築

大学が有する各種資源を活用したプログラムを立案することで、国内の実情に合わせた大学スポーツの新たな収益事業モデルが構築される。

### 3. 合宿や遠征の多い学生アスリートのキャリア形成支援

海外及び国内各地を遠征しなから顕著な活躍を続けているアスリートに対し、学業支援を中心としたキャンパスライフ支援を行うことで、学業とスポーツのデュアルキャリア支援を行う先進的な事業実施モデルを構築する。

### 4. 大学スポーツマネジメントに関する研究の推進とその成果の社会還元

シンポジウムにおいて、各大学内の実践的研究の成果を報告しあうことで、大学間の情報交換を促進し、さらなる研究の促進を促す。